

令和 8 年度 第 4 回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和 8 年 7 月 28 日（火） 9 時 30 分～15 時 00 分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター 2 階集会室
- 3 出 席 者 子ども会議委員 8 名、ファシリテーター 1 名、事務局 2 名
- 4 活動内容 (1) 東奥日報社による出前授業
(2) 青森ねぶた祭に向けて

5 開催概要

東奥日報社による出前授業を受講した後、青森ねぶた祭に向けた花笠マスコット制作の続きと、配布物品をセットにして袋詰めする作業を行いました。

東奥日報社による出前授業

8 月に実施する調査研究活動では、企業の方などへのインタビューを予定していることから、取材のプロである新聞記者の仕事内容や、取材・インタビューのポイントについて学ぶため、東奥日報社販売局 NIE・NIB 推進部の方にお越しいただき、出前授業を行っていただきました。

まずは、新聞社の仕事や魅力について、スライドや実体験を交えながらわかりやすくお話いただきました。続いて、インタビューの進め方や記事の書き方について学びました。取材前の準備や当日の持ち物、取材時の態度や進め方、相手から話を引き出すポイントなど、実践的な内容を丁寧に教えていただきました。その後は、「実際にインタビューをして記事を書いてみよう」という実践として、2 グループに分かれ、委員が事務局職員にインタビューを行い、記事を作成しました。最後には、それぞれのグループが作成した記事を発表しました。今日の授業を通して、取材や記事作成のポイントを楽しみながら学ぶことができ、とても充実した授業となりました。授業の最後には、委員を代表して中学生委員が東奥日報の記者から実際に取材を受けました。授業の様子については翌日の朝刊に掲載される予定とのことで、掲載を楽しみにしたいと思います。

授業終了後は、前回の会議で話し合った 8 月のインタビュー内容について最終確認を行い、調査先ごとの質問内容を決定しました。今回の出前授業で学んだことを生かし、インタビュー当日も事前にポイントを確認しながら、相手の思いや考えを引き出せる有意義な調査となるように取り組んでいきたいです。また、今回学んだ内容は参加できなかった委員とも共有し、委員全員で学びを深めながら、子ども会議フォーラムにつながる充実した調査研究活動となるようにしていきたいです。





青森ねぶた祭に向けて

後半は、ねぶた祭で実施する子どもの権利普及啓発活動に向けて、花笠マスコット制作の続きと、配布物品の袋詰め作業を行いました。

花笠マスコットは、前回考えた子どもの権利の標語を書いた短冊と鈴をタコ糸に通し、土台や折り紙で作った鶴とつなぎ合わせた後、お花紙で作った花をつけて完成となります。みんなで役割を分担しながら作業を進め、完成した花笠マスコットを袋に入れ、子ども会議や子どもの権利相談センターを紹介するミニ紙を添えて準備を進めました。

また、配布物品については前回考えた子ども会議と子どもの権利相談センターの紹介チラシのほか、子どもの権利相談センターの携帯カード、ティッシュ、鈴をセットにして袋詰めしました。

たくさんの作業がありましたが、みんなで協力して進めることができ、5日後に迫ったねぶた祭に向けた準備をすることができました。

